

ジオパークを目指した取り組み(四国西予・黒瀬川地域) Activities for Geopark registration(Shikoku'sSeiyo-Kurosegawa area-)

高橋 司^{1*}

TAKAHASHI, Tsukasa^{1*}

¹ 愛媛県西予市

¹Seiyo City inEhime Prefecture

私たちのまち、四国の西部に位置し、約515平方キロメートルの面積を有しています。

海拔0 mから1,400mまでの標高差をもち、貴重な地形や動植物が残されている四国カルスト、卯之町の古い町並みに加えて遺跡や古墳が数多く分布している宇和盆地、リアス式海岸とだんだん畑がおりなす北部宇和海地域のすばらしい景観、大切に保存されている伝統文化など、市内各地には“地域の宝”が数多く残されています。

その中でも、九州から四国、紀伊半島を経て関東まで点々と連なる、今から4億年以上前の日本最古級の地層「黒瀬川構造帯」は、研究発祥の地が私たちのまちであり、未だに解決されていない「日本列島の起源」をさぐるためには欠かすことのできない重要な地層です。

今回のポスター展示では、海・里・山に広がる多様な自然や生態系をもち、海・里・山に生きる人々の様々な文化が保存されている私たちの地域と、平成23年度に実施したジオパークを目指した取り組みをご紹介します。

キーワード: 黒瀬川構造帯, 四国カルスト, 北部宇和海, 宇和盆地

Keywords: Kurosegawa Tectonic Zone, Shikoku Karst, The Northern Uwakai Sea, The Uwa Basin